

## 製品名: LPP マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM80625

研究使用のみ

### 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル、ハムスター
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	66kDa

### 抗原情報

遺伝子名	LPP
別名	LPP
遺伝子 ID	4026.0
SwissProt ID	Q93052
免疫原	大腸菌で発現したヒト LPP の精製された組み換え断片。

### 背景

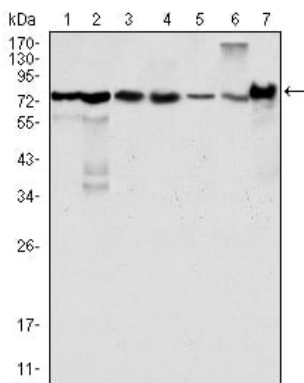
脂肪腫における LIM ドメイン含有優先転座パートナー。Zyxin ファミリータンパク質には、Ajuba、LIMD1、LPP、TRIP6、Zyxin の 5 つのメンバーが含まれます。LIM ドメイン含有足場タンパク質である LPP (LIM 含有脂肪腫優先パートナー) は、カルボキシ末端に 3

つの LIM ドメインを含み、その前には、多数のタンパク質相互作用ドメインを含むプロリンに富むプレ LIM 領域が存在します。80 kDa のタンパク質である LPP は、接着斑や細胞間接触などの細胞接着部位に局在し、核へと移動して転写活性化能を発揮します。ヒト LPP 遺伝子は染色体 3q28 にマッピングされ、脂肪腫として知られるヒト良性間葉系腫瘍のサブクラスにおいて HMGIC 遺伝子に優先的に転座します。

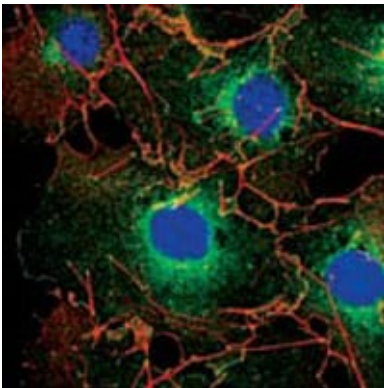
## 研究分野

-

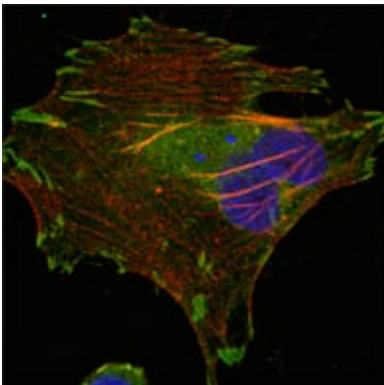
## 画像データ



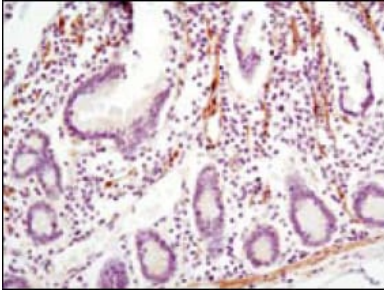
Hela (1)、NIH/3T3 (2)、COS (3)、Caki (4)、MCF-7 (5)、HepG2 (6)、および SMMC-7721 (7) 細胞溶解物に対する LPP マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



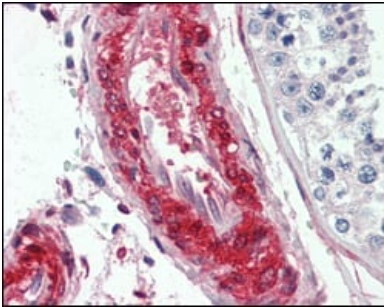
LPP マウス mAb (緑) を用いた COS 細胞の共焦点免疫蛍光染色。赤: DY-554 ファロイジンを用いて標識したアクチンフィラメント。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



LPP マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の共焦点免疫蛍光染色。赤: DY-554 ファロイジンを用いて標識したアクチンフィラメント。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



LPP マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト小腸の免疫組織化学分析。



LPP マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト血管組織の免疫組織化学分析。